

★留学生便り (45) ★

## ハバロフスク太平洋国立大学留学(5)

松本 泰男

6月15日(金)10時、104教室にて春学期の卒業試験。文法、ディアログ、モノログの3科目です。先ずは文法。問題用紙に書かれた文章の一部が抜けていて、そこに当てはまるべき語句を右に並んだ2~5個の候補から選び、白紙の解答用紙に、鉛筆では無く、後から修正できないようにボールペンで「1-A、2-Γ、3-B...100-D」の様に入力して行きます。100問30分。結果は記入終了後その場で採点されます。

次はディアログ。試験官とのロールプレーによる会話の試験です。目の前に裏返して並べられたカードから1枚選び、裏に書かれたテーマに沿って会話を行います。テーマには「お店」「図書館」「大学の事務局」「教室」「病院」「レストラン」「街角」「招待する」「招待される」があり、私が引いた籤は「図書館で В библиотеке」。新入生の私が図書館にやってきました。「こんにちは!ヤコフです。2月9日から始まる授業で使う教科書と露和辞典を貸して下さい。…図書館利用証の提示…無事貸し出しを受けて、スパシーバ!ダスピダーニア!」。必死だったので良く覚えていませんが、多分2~3分程度の短い会話だったと思います。

3番目、最後のテストはモノログ。ディアログ同様、目の前に裏返して並べられたカードから1枚選びます。テーマは「自分のこと」「家族」「勉強」「自由時間」「故郷」等。ここで引いた籤は「自分のこと О себе」。自分について10分以内で、淡々と、語ります。

「私の名前はヤコフ。ロシア語を勉強するために5ヶ月前日本の東京からハバロフスクにやってきました。来た日はマイナス30度で…私の家族は…友達は…学生寮の生活は・・・暇な時は・・・この試験が終わったら・・・7月末に帰国する予定です…」。

一つ種明かしをしますと、試験前の1週間ほどは授業の大半を準備に費やします。各テーマに沿って事前に作文をし、先生が何度も添削して下さいます。会話の始め方、テーマの繋ぎ方・締めくくり方等など、言わば起承転結ですが、これが結構難しい!毎日授業が終わるとノートは赤ボールペンの修正で一杯になっています。それを又寮に持ち帰って清書して…このノートは今や私の宝です。

試験の結果は5段階評価です。5=Отлично (95~100点)、4=Хорошо (75~94点)、3=Удовлетворительно (61~74点)。61点以上のここまでが合格!このレポートを書いている6月17日現在、未だ正式な書面を頂いておりませんが、試験官のイリーナ先生や他の先生方からも5の評価だったことを伺いました。

今、とてもとても嬉しいです。来たときは生まれて初めて体験するマイナス30度。コンタクトレンズをしても大丈夫か?2~3ヶ月で帰ろう!などと思ったこともあるのが嘘のようです。すこし羽を伸ばし7月22日からの日口交流協会主催のサマースクールに参加し、29日にスクールの皆さんと一緒に帰国します。ここまで支えて下さった多くの方々に感謝感謝です。有り難うございました。(理事)

